

【教育目標】
進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.6
令和5年10月6日
中央台東小学校
校長 松崎 健一

「皆さんで、元気で楽しい自分たちの中央台東小学校を創りましょう。」

すっかり秋らしくなり、過ごしやすい季節となりました。子どもたちは、学習の発表会に向け元気に練習に取り組んでいます。その姿からは、「やるぞ!」「がんばるぞ!」という気持ちが伝わってきます。子どもたちで決めた学習の発表会のスローガン『心を1つに かがやく 学習の発表会』のとおり、皆で最高の発表会を創りあげられるよう頑張らせたいと思います。

校外での学び と 外部人材を活用した学び

町たんけん：2年 【9/12 分遣所・交番】

普段では体験できない探検となりました。消防車や救急車の様々な装備に驚きました。パトカーにも乗ることができて子どもは大喜びです。

【9/26 公民館】

公民館はどういう所なのかを学習してきました。地域の人が集まり話し合いをしたり、趣味のサークル活動をしたりするなど、大切な働きがある場所だと分かりました。



〔そば打ち教室〕

あかい菜園見学：3年 【9月7日(木)】

社会科の学習の一環で、トマト作りの様子を見学してきました。トマトがどのように生産されているか、自分の目で確かめることができました。



修学旅行：6年 【9月22日(金)】

浅草花やしきで遊び、仲見世での買い物を楽しみ、東京スカイツリーからの眺めに驚きました。5人ほどのグループでの活動でしたが、どのグループにもやかな笑顔がたくさん見られた一日となりました。仲良く活動できる6年生たちの姿を見ながら安心して引率することができました。



鍵盤ハーモニカ講習会：1年 【9月6日(水)】

専門的に教えていただける先生を招いて授業をしました。良い音を出すことができました。



楽器を演奏する楽しさを
知って欲しいな。



保健指導「思春期のからだの変化」：4年

【9月13日(水)】

1組・2組ともに養護教諭も加わり、男女の体の変化について留意することや、自分のこれからの成長の変化について学びました。



人権教育：5年 【9月7日(木)】

いわき人権擁護協議会から講師を招き授業をしました。いじめ問題についてお話いただき、自分事として考える時間となりました。



出前読み聞かせ会：5・6年 【9月28日(木)】

“子どもの読書環境を豊かにする会”の3名を招いて、読み聞かせ会を実施しました。大型絵本や紙芝居を含め、4つのお話をしてくださいました。

※ 他の学年の出前読み聞かせ会は、1月に予定しています。



曇り空だったけど、スカイツリーからは
大都市東京を見渡すことができました。
良かったですね。



大森先生が産休に入ります。

2年2組担任の大森真季子先生が、10月10日より産前産後休暇に入ります。それに伴う補充教員ですが、着任するまでに少し時間がかかるため、当分の間、本校の専科教諭 濱津恭治先生が2年2組担任を務めることとします。なお、補充教員が正式に決まり次第、文書にてお知らせしますのでよろしくお願い致します。



校長室より

猛暑の影響か、学校環境に昨年と比べて大きな違いが2つありました。

1つ目は、学校花壇の花たちです。昨年の今頃は、大きく育ったマリーゴールドから次々と花が咲き、花壇は黄色とオレンジ色で埋まっていました。現在の状況は、花芽はあるものの上手く開かず花数が非常に少ないのです。よって、昨年マリーゴールドの花で作った学習の発表会時のウェルカムボードはできそうにありません。でも花壇には、猛暑に耐えたサルビアやベコニアたちが頑張っています。また、こぼれ種から育ったコキアも元気そうです。植え替えを嫌うので少し密集してしまいましたが、鉢への植え替えが上手くいったものもいくつかあります。そろそろ全てが真っ赤に紅葉する頃です。楽しみです。

2つ目は、校庭の雑草です。PTA 奉仕活動の際にご覧になったかと思いますが、校庭一面といってよいほど雑草が出てしまいました。しかも背丈があるので除草するにも容易ではありません。子どもたちの安全の確保のためにも何とか整備する必要があります。ですが、整備する時間も人手も予算もありません。そこで、校庭の雑草をすべて除草するのではなく、体育の授業で使用する所を重点に草刈り機で根こそぎ除草し、残った緑の面を芝刈り機で短く刈り込むことにしました。地道な作業でしたので先日ようやく全面を整備することができました。以外に地面と緑のコントラストが美しいものです。今後は、継続して少しずつ手入れをしていけばよさそうです。

さて、ここまで読むと、「校長先生は花が好きで花壇の手入ればかりしている。草刈りも好きなんだろう。」と思われる方もいらっしゃるでしょう。否定はしません。好きでなければ続きませんから。ただ、校長としての思いをもって行動しています。

- ① 子どもを取り巻く学校環境を少しでもよいものにしたい。
- ② 子どもの活動の場を生み出したい。
- ③ 先生方が授業に全力を注げるよう支援したい。

それでは、いくつか具体的な話を紹介しましょう。



★校舎東側花壇の前を、ほとんどの子どもたちが登下校の際に通りますので、自然と花壇が視界に入ってきます。だから力を入れて整備しています。きれいな花が咲いていれば、少しは心穏やかになると思うのです。つい先日、下校時の6年生の女の子が、花壇のブルーサルビアを見ながら話しかけてきました。「校長先生、この花きれいですよね。うちの庭にも植えてみたいです。」と。

★花壇は園芸委員会の活動場所でもあります。曜日ごとに水やり係が決まっています。活動日でなくても、大休憩時間に花壇にやってきては小さな雑草の処理をしている6年生の女の子がいます。この間は、会話をしながらフウセンカズラの種取りを一緒にやりました。

★校庭の雑草の整備は、校庭での子どものけがを少なくしたいからです。草刈りをしていると、雑草に隠れた地面が凸凹している所や石ころが多い所などにも気づきます。

★先週の大休憩時のことです。2年生の男の子が雲梯の近くで作業をしていた私のところに来て石拾いを手伝ってくれました。いつもなら運動帽を虫捕り網代わりにしてずっとバツを追いかけている子です。刈り取った雑草の中に混じっている石を見つけては準備していたバケツにどんどん入れてくれました。

★整備した校庭は運動委員会の活動場所でもあります。「根こそぎ刈り取って地面がきれいに見える所だけをきれいに保ちたい」と担当の先生に働きかけたところ、運動委員が毎朝トンボとコートブラシを使って地面をならすようになりました。コートブラシを新しく3本購入もしたので、なお活動意欲も出てきたようです。毎日継続すれば、雑草も生えてこないだろうと思います。

★昨日、校庭で1年生が体育の授業をしました。雑草処理がされた校庭で、障害物を飛び越えて走ったりフラフープをくぐったりと様々な運動遊びをしていましたが、順番待ちしている数人は砂いじりをしていました。でもよく見てみると、実は小さな雑草を抜いて集めていました。授業中なので、これが良いことかどうかは別として、何ともかわいらしい姿です。私は、授業後にそのままにされた小さな雑草の山を片付けましたが、なかなか上手に抜くことができていました。

学校生活環境を整えるには苦勞が伴いますが、子どもたちが応えてくれるので、やりがいがあります。今日も短い時間ですが花壇の整備をします。